

揖斐郡学校保健会

会長 野田 宜輝

1 令和2年度予算総額 810,700円

2 令和2年度の主な事業とその内容

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校保健に関する各校の保健的行事が中止或いは大幅な延期等の措置がとられた。揖斐郡学校保健会の事業も多くが実施不可能となり、郡内の保健情報の交流や相談活動、連絡調整が中心となった。しかし郡内児童生徒の健康や体力の調査活動は70年近い歴史があり、今年は健康面のみを対象として調査を実施した。

《「いびの子のからだ」調査出版事業》

加盟団体である揖斐郡保健主事会、養護教諭部会、体育主任会、栄養部会の協力を得て、毎年、健康・体力の調査活動を行っている。調査結果は「いびの子のからだ」の冊子にまとめ、約200冊を、各学校をはじめ医師会、歯科医師会、薬剤師会、教育委員会等に配布している。

◇これまでの「いびの子のからだ」の内容

【健康状態】 疾病・異常被患者数、被患率、う歯の状況、発育状況、肥満度による体格のようす

【体力テストの結果】

【中学校総合体育大会成績等】

【揖斐郡学校保健会研修総会 講演記録】

【食に関する指導の実践事例】

【保健関係表彰の記録】

従来は各項目を学校別にまとめていたが、学校規模縮小等により統計の精度が保てなくなった。そこで、平成30年度に年齢別の編集に全面的に変更し、統計表も自動作成できるように改訂した。

また調査結果の簡単な分析も掲載し、各学校や団体で、児童生徒の課題の明確化や対応策の検討に活用していただいている。

3 今後の課題

- ・児童生徒の自ら健康を維持増進できる力の育成
- ・喫緊の課題に対する情報提供体制の充実